

シスメックス株式会社  
人事部ダイバーシティ推進課  
中島幸季氏にお話しを伺いました。

#### 【会社概要と地域貢献】

**学生:** 会社概要について教えてください。

**中島氏:** シスメックス株式会社は、「臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入」にかかわる事業内容で、190以上の国や地域に展開するグローバル企業です。

**学生:** 神戸に本社を構えることのメリットはどのようなことでしょうか？

**中島氏:** **神戸は創業地**であるとともに、交通、物流など海や空からもアクセスに優れており、「医療産業都市」としてヘルスケア産業を軸に地域経済活性化を進めているなど、**グローバルビジネスを展開する当社にとって、コーポレート機能(本社)を設置する最適な都市**であると考えています。

#### 【お仕事のフィールド】

**学生:** シスメックス様では、具体的にどのようなお仕事を担うことになるのでしょうか。

**中島氏:** 研究開発から生産、そして販売サービスに至るまで一貫した機能を保有するメーカーであり、世界に76社の関係会社を展開。商品の企画、市場導入においては研究開発だけでなく、薬事、知的財産、臨床開発といった部門が連携して各国法規制に対応し、また、世界各地に配置している工場をはじめとするものづくり機能を含むサプライチェーンを通じて世界190以上の国や地域の医療機関へ品質の高い製品をお届けしています。

他にも、経営企画、事業戦略、法務、人事、経理など、会社の機能を支えるスタッフ部門も重要な役割を果たしており、理系、文系問わず活躍のフィールドは多岐に渡っています。



シスメックス株式会社テクノパークにて

#### 【営業職のキャリア】

**奥田氏** (入社6年目) へのインタビュー

**学生:** ご入社のご志望理由を教えてください。

**奥田氏:** 新聞の就職情報からシスメックスを知りました。当時、メガトレンドのヘルスケアに興味をもち、企業研究をしているうちに治療や投薬が変化するなか「検査」の重要性を理解、将来性も期待し、地元にも本社があることも含めて入社を決意しました。

**学生:** 営業職としての喜びについて教えてください。

**奥田氏:** やはり数値目標の達成が結果的に喜びにつながりますが、そのプロセスで様々な壁を乗り越えていくことが喜びでもあります。お客様のご要望に応えるために、開発や学術部門の方々と連携して、課題を解決していくプロセスは、ゲームのように乗り越えながら楽しんでいます。ポジティブに物事を捉え、幅広く多くの方々と関わることで自身の成長にもつながっています。

**学生:** コロナ禍の営業スタイルについて教えてください。

**奥田氏:** 緊急事態宣言中は、遠隔でできることは何でも試みました。Webセミナーを活用して話を聞いてもらうことや、メールのやりとりも増えました。また、リモートワークが推進されているので、ワークライフバランスは、格段に充実しています。

### 【ダイバーシティ&インクルージョン】

学生：御社の D&I の特徴について教えてください。

中島氏：当社は、企業理念「Sysmex Way」を掲げ、そのなかで「多様性を受け入れ、一人ひとりの人格や個性を大切にすると共に、安心して能力が発揮できる職場環境を整えます。」という行動基準を全世界のグループ従業員に示しています。環境変化の激しい時代、グローバルの多様なニーズをくみ取り、製品やサービスに反映するとともに、多様な価値観やスキルを持った人材が融合することで新たなイノベーションを創出し、様々なステークホルダーに価値を提供し続けることが大切だと考えています。2012年から毎年、日本以外の国籍の方々を積極的に採用しています。文化の違いを受け入れ共に働くために、食事、宗教上の配慮等多様な価値観をインクルーシブに対応し、社内文書等は英語と日本語のバイリンガル、研修プログラムにおいては海外版を取り入れ、言語のギャップをできるだけ低減するように努めています。さらに、日本的な雇用慣行の長期的雇用を前提として、個人の強みを生かす職種に就くために、キャリア選択ができる仕組みを取り入れた JOB 型人事制度を導入しています。ここに至るまでに、理解のある管理者が真摯に取り組み、対話をとおして信頼関係を構築し、人事制度や施策に反映されるようになったという背景があります。製品についても様々な知識をもった技術者のアイデアを出し合っ**てより良いものをお客様に提供するという意味でダイバーシティが必要なのです。**

### 【女性管理職】

中山氏（女性管理職）へのインタビュー

学生：管理職に昇進された時のお気持ち、管理職と非管理職では何が違うのかについて教えてください。

中山氏：一般職として入社し総合職に転換後、管理職として就任しました。現在の仕事は、サステナビリティ・データブックやホームページで公開している社員教育時間等のサステナビリティ目標に対する進捗管理を担当しています。管理職に昇進したとき、仕事としてできることが広がるという肯定的な気持ちで受け止めました。また、管理職研修を通じて、自分のスキルや実力を客観的に認識することで自信につながりました。非管理職と管理職の違いは、その仕事がどのように影響するのか、社外の人はどう思うだろうかといった点、仕事を俯瞰的に見るようになったということがあげられます。

子どもが2人いるのですが、在宅勤務の日は、上司の許可を得て、たとえば、子どものお弁当を作る時間に30分だけ“職場離脱”をとり、また業務に戻ることもあり、ワークライフを充実しています。

### 【学生へのメッセージ】

学生：これから就職活動を始める学生たちへのメッセージをお願いします。

中島氏：就職活動をするうえで、企業研究と自己分析は欠かせないことは言うまでもないことなのですが、企業と自分との相性をリンクしながら考えることが良いキャリアに結びつきます。

（神戸学院大学経済学部 2021 年度 1 年次生 大塚英美・木暮衣里合同ゼミ、経営組織論 柳、佐野、坂根、林、尾崎、奥出、鈴木、原田 下向、岡崎）



写真：シスメックス株式会社提供（テクノパーク内）